

公益財団法人世界緑茶協会
令和2年度事業計画

(基本的な進め方)

茶を楽しみ、その文化、歴史に触れ、茶の魅力を実感できる「茶の都しずおか」づくりの一翼を担い、世界の茶文化やお茶を楽しむ新しいスタイルを提案するとともに、緑茶に関する情報を集積して日本茶、静岡茶を世界に向けて情報発信する。

国の農産物輸出戦略に沿って、農林水産省、関係団体と連携して海外での日本茶の普及と輸出の促進を図る。また、新たに開始された「Cha0I プロジェクト」において、オープンイノベーションの手法による新たな茶の需要創出と生産構造の転換を支援する。

(具体的な事業)

1 茶文化に関する講座及び体験事業(公益目的事業1)

(1) 茶文化セミナー等の開催

「茶の都しずおか」の創造を目指し、茶に関する歴史、文化、効能など様々な情報発信を行うとともに、茶を楽しむ機会を創出する。

区分	時期	内容
茶の都文化セミナー	令和2年7~8月 (予定)	静岡茶を楽しむ多彩な茶会「シズオカ・ティー・ウィーク」連携セミナー
	令和2年11月 (予定)	茶の都ミュージアム連携セミナー 「茶人が選ぶ菓子と茶器(仮称)」

(2) 情報誌「緑茶通信」等の発行

茶に関する幅広い情報を発信するため、専門情報誌「緑茶通信」を発行する。

発行時期	主要テーマ	発行部数
令和2年9月	47号 消費者が求める茶のサステナビリティ(仮)	1,000部
令和3年3月	48号 中国茶業の今、そして未来(仮)	1,000部

(3) 静岡茶体験コーナーの運営

茶文化の普及や茶の消費拡大を図るため、「しずおかO-CHAプラザ」の静岡茶体験コーナーを運営するとともに、お茶の楽しみ方を提案する講座等を実施する(一部静岡県委託事業)。

ア しずおかO-CHAプラザの運営

場所・規模	静岡市駿河区南町14-1水の森ビル3階 65㎡ 15席
開場時間	月曜日~金曜日 午前9時30分~午後4時30分
内容	静岡茶体験講座等の企画及び運営、世界緑茶コンテスト入賞茶や県内茶産地紹介などの企画展示、茶関連書籍などの資料収集

イ 静岡茶体験講座の企画運営

- ・ミニ講座：季節に応じたお茶の楽しみ方を提案する講座

時 期	回 数	テ ー マ (予 定)
5月～6月	8回	新茶を楽しむ
6月～7月	8回	冷茶を味わう
8月	2回	夏休み親子お茶講座
9月～10月	8回	国産紅茶
10月～11月	8回	抹茶と粉末茶
12月～1月	8回	日本のお茶 世界のお茶

- ・静岡県内茶産地紹介・体験講座

時 期	対 象	内 容
通年	学校・企業・一般・ 訪日外国人等	お茶の基礎知識、県内茶産地の紹介、県内茶産地のお茶を使ったおいしい淹れ方体験 (訪日外国人には多言語、専門家による静岡茶の体験機会を提供)

2 世界の茶に関する情報の集積及び発信（公益目的事業2）

(1) 日本茶輸出の促進

ア 国際的な見本市への参加

国の農産物輸出戦略に沿って輸出環境の整備を図るとともに、国際的な食品見本市等へ参加し、茶文化や学術情報の発信等のPR活動により、日本茶の輸出拡大を支援する（一部日本茶輸出促進協議会事業）。

開 催 地	米国・サンフランシスコ	国内（幕張メッセ）
開 催 時 期	令和3年1月	令和3年3月
名 称	Winter Fancy Food Show 2021	Foodex Japan 2021

イ 日本茶輸出促進のための研修、人材育成

次回の世界お茶まつりにおける世界緑茶会議等の開催に向けた準備を進める。また、日本茶・静岡茶を海外で発信、販売してくれる人材を養成するための研修・講座を実施する。（一部静岡県委託事業）

区 分	対 象 者	内 容
海外茶業者の茶生産現場での研修	海外茶業者等	日本茶ビジネスを希望する海外の茶業者等に対し、県内茶業者と連携して茶生産現場等で静岡茶の魅力を学ぶ実務研修を実施する。

(2) 世界への情報集積・発信

ア 世界とのネットワーク形成

茶の輸出入については、国際的な枠組みで規格や基準の制定が進められている。これらへの関与を目的に、農林水産省が設置した国際規格への国内審議委員会に参画す

るとともに、各種国際機関や海外の茶関係団体等と連携して情報を収集する。

区 分	内 容
茶に関する国際機関等での情報収集	<ul style="list-style-type: none"> ・ ISO（国際標準化機構）TC34/SC8（食品部会/茶専門分科会）における議題に関する国内審議への参画。議案の意見調整と ISO 事務局への投票業務。 ・ ITC（国際茶委員会）及び FAO-IGG（国連食糧農業機関「茶に関する政府間会議」）における茶の輸出入の規制や生産、貿易に関する情報の収集。
各国の茶関連団体との交流、情報交換	<p>茶に関連する海外の団体（全米茶協会、カナダ茶・ハーブ協会等）や個人を対象に特別会員制度を設け、情報収集と発信を行う。</p> <p><海外特別会員の状況（令和2年3月）> 16 か国・地域、27 者・団体： 中国 2、韓国 2、台湾 4、米国 5、英国 2、イタリア 2、カナダ、ドイツ、ロシア、スイス、アルゼンチン、コロンビア、ブラジル、シンガポール、ネパール、マレーシア 各 1</p>

イ ウェブサイトやソーシャルネットワークサービス(SNS)を活用した情報発信
 公式ホームページ「O-CHA ネット」や Facebook 等の SNS を活用して情報発信を図る。

媒 体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公式ホームページ「O-CHA ネット」（日英） ・ 賛助会員向けメールマガジン（月 1 回程度） ・ Facebook（週 2 回程度、多言語発信）
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本茶に関する基礎知識、専門知識 ・ 茶の機能・効能に関する研究成果情報 ・ 国内外の茶に関するニュースや生産・消費等の状況 ・ 国際見本市や輸出関連展示会等に関する情報 ・ 協会やその他関連団体が開催する茶関連イベント、行事に関する情報

(3) 世界緑茶コンテストの開催

ア 世界緑茶コンテスト 2020 の開催

市場性の高い魅力ある新商品を提案し、茶の新たな需要を創造して消費の拡大に繋げることを目的に、世界緑茶コンテストを開催する。

目標出品点数	70 点（うち海外 30 点）
募 集 期 間	令和 2 年 4 月～7 月
審 査 会	令和 2 年 8 月 ふじのくに茶の都ミュージアム （審査員） 茶研究者、流通業者、マーケティング研究者、デザイナー等
入賞茶の展示 ・ PR	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種イベント、食品見本市等において展示、PR を実施 ・ 公式ホームページ「O-CHA ネット」に掲載

イ 海外品評会への出品支援

日本茶の国際的なブランド化を図るため、国際名茶品評会など海外で開催される品評会における日本からの出品を支援する。

(4) O-CHAパイオニア顕彰

茶にかかわる優れた学術研究、緑茶の振興及び発展に寄与した産業技術、緑茶生活文化の提案、消費拡大等の優れた成果を顕彰する。

・表彰の区分

部 門	内 容
学術研究大賞	茶に関する優れた学術研究成果
産業技術・商品開発大賞	茶の生産や消費に関する優れた技術や商品の開発
文化・芸術大賞	茶に関する文化及び美術等の芸術に関する活動
O-CHA 特別賞	茶に関する国際的な貢献や日本茶の普及等に係る優れた取組
CHALLENGE 賞	茶の将来を牽引するような意欲的な取組

・候補者募集：令和2年9月～3年1月、選考委員会：令和3年3月(予定)

(5) ChaOIフォーラム運営支援

静岡茶の新たな価値の創造を目指して、茶業界の枠を超えた幅広い技術・アイデアを活用した新たな需要創出のための相談・助言、人材育成等の支援業務を実施する(静岡県委託事業)。

項 目	概 要
コーディネーター等の設置	茶及び関連産業分野における専門家をコーディネーター等として設置(2～3名)
相談等支援内容	・茶及び関連産業分野における技術情報の収集、分析、提供 ・産官学の交流及び連携の促進 ・新たな技術やアイデア等を活用した事業化の支援
実施方法	・コーディネーター等を静岡県農林技術研究所茶業研究センターに配置(駐在) ・ChaOIフォーラムの会員や関連企業・茶業者等を対象にオープンイノベーションの手法による新たな技術・商品の開発及び事業化を支援
実施件数	相談支援件数：100件程度(令和2年6月～令和3年3月)

3 ホームページバナー広告(収益事業)

お茶の総合情報サイトである公式ホームページ「O-CHA ネット」の充実と閲覧者の利便向上、茶の消費拡大を目的に、お茶及びお茶関連商品販売事業者の広告を募集する。